

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2002年8月20日

気温は一転し、平年を大きく上回り各地で100度を越す気温を記録した。この週も全く降水を記録しなかった。土壌水分不足は、今後の2003年産冬小麦の播種に深刻な影響を与える。

小麦の収穫作業は急速に進み全州に亘り略完了の状態である。冬小麦は96%が完了（昨年：88%、平年：83%）した。早害状態であったことより連作圃場では単位収量の激減が認められる。春小麦の収穫も81%で完了し単位収量は平年以下である。

2002年8月1日付け農務省発表の冬小麦の生産量予想では、7月1日と全く同じである。単収40.0bu/ac(6月1日：47.0bu/ac)、収穫面積750,000エーカー、収量30,000,000ブッシェルである。春小麦の生産量予想は、7月1日より下向修正となり、単位収量：25.0Bu/ac(7月1日：27.0bu/ac、昨年：30.0bu/ac)、収穫面積予想：155,000エーカー(昨年：175,000エーカー)、収穫量：3,875,000ブッシェル(昨年：5,250,000ブッシェル)となっている。

2002年8月18日現在：

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	51	34	15	0
Subsoil (%)	49	36	15	0

作物進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5 - yr Ave.
Winter wheat Harvested (%)	96	85	88	83
Spring wheat Harvested (%)	81	56	84	na

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

2002年産のソフト・ホワイト小麦の品質は、昨年より水分は低く8.2~8.98%、蛋白質は11.8%前後であり、容積重は均59.2lbs/bu程度である。粒のサイズは多少小さく、狭雑物は1.36%前後と多少高めで、萎縮粒も2001年産より多い傾向である。粒の灰分も多少高めの1.355%と報告されている。